

富山県南砺市に企業版ふるさと納税を実施 地方創生プロジェクトを通じて持続可能なまちづくりに貢献

当社は、人々の豊かな暮らしを支える「サステナブルインフラ企業」です。
このたび、富山県南砺市（田中 幹夫 市長）が推進する「井波まちづくり 100年構想事業」に対して、地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）に関わる寄付を実施し、南砺市より感謝状を贈呈されましたので、ご報告いたします。



中央 南砺市 田中幹夫 市長、中央左 いちご(株) 執行役 田中建路、中央右 コリニア(株) 代表取締役 CEO 小倉朗

南砺市は、「世界に誇れる一流の田舎」をスローガンに、世界遺産の五箇山合掌造り集落や、日本遺産の木彫刻（井波彫刻）などの文化資源を有し、政府のSDGs 未来都市にも選定されています。

当社は、2021年頃より井波地域のまちづくりに関わり、2022年には築100年を迎える旧井波美術館を取得、地域の皆さまとともに耐震補強・改修を行い、歴史的建造物として再生いたしました。これを当社が掲げる「100年不動産」の実践対象として心築（しんちく）し、歴史・文化資産を活かした地域活性化に取り組んでおります。

また、南砺市への企業版ふるさと納税については、2024年2月期に1,000万円、2025年2月期に1,000万円を実施してまいりました。

今般、井波のまちづくりが文化庁の「本物の日本文化を体験する観光拠点整備事業」に採択されるなど、地域の取り組みが新たな段階に入ったことを踏まえ、「井波まちづくり 100 年構想事業」を一層後押しすべく、2026 年 2 月期に 4,500 万円の寄付を実施いたしました。

いちごグループは、日本全国において不動産およびクリーンエネルギー事業を展開し、地域に根差した持続可能な社会の実現を目指しています。

本寄付を通じて、井波地域の文化を国内外へ広く発信し、訪問・滞在を通じた人々の交流を創出することで、地域内に新たな経済循環を生み出し、「文化」の持続可能性の向上に貢献してまいります。

※ 心築（しんちく）

心築とは、いちごの不動産技術とノウハウを活用し、一つ一つの不動産に心を込めた丁寧な価値向上を図り、現存不動産に新しい価値を創造することで、日本における「100 年不動産」の実現を目指しています。

■ いちご株式会社 執行役副社長兼 COO 石原 実のコメント

このたび、南砺市が推進される「井波まちづくり 100 年構想事業」に対し、企業版ふるさと納税を通じてご支援させていただき機会をいただき、大変光栄に存じます。

井波は、日本を代表する木彫刻文化を有する地域であり、その価値は国内にとどまらず、世界に発信すべきものと考えております。このような日本の本質的な文化を、いかに国内外の人々に知っていただき、次世代へ継承していくかは、私たちにとって重要なテーマです。

当社は、旧井波美術館の活用や観光コンテンツの磨き上げを通じて、地域の皆さまとともに交流機会の創出に取り組んでおります。こうした取り組みが経済的価値を生み出し、地域、富山県、さらには北陸全体の発展につながることを期待しております。

■ 寄付の概要

寄付企業 いちご株式会社ほかグループ会社

寄付金額 4,500 万円

活用事業 井波まちづくり 100 年構想事業

※ 本リリースに関するお問合せ先 **いちご広報担当 03-4485-5515**

以 上